



K121.82

17

3

No. 9968

畠山健著

卷三

小學作文指南

松木氏藏版

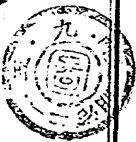
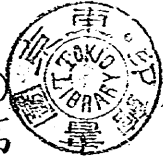
小學作文指南卷之三

畠山健 著

○第一課。

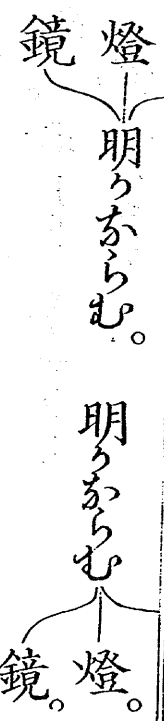
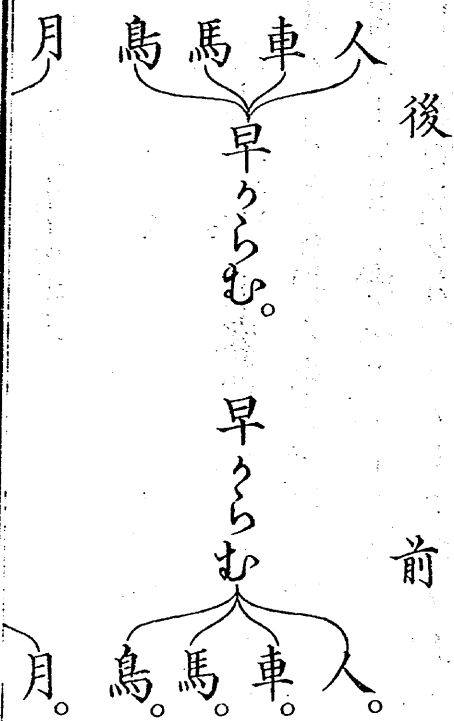
形容詞變格。未來變格

此ノ課ハ形容詞ノ未來變格ヲ教フルヲ以テ
目的トス。此ノ變格ハ「くらむ」ヲ加フ。前後變格
トモ皆同シ。「くらむ」ハ「く」あらむ」ノ約ニテ假ヘ
ハ「清」くらむ」ハ「清」く「あらむ」ノ約「遅」くらむ」ハ「遅」
「く」あらむ」ノ約ナリ。又「く」ニテ終ル形容詞及ビ



小學作文指南 卷之三

漢字音ノ形容詞ハ「からむ」ヲ加ヘテ此ノ變格ヲ示ス。



注意。此ノ變格ノ前變格ハ直ニ名詞ニ連續スルコト甚タ稀ニシテ。高尚ナル文ニ屬セリ。

左ノ形容詞ニテ文ヲ綴ラシムベシ。文ヲ綴ルニハ次ノ例題ノ如ク形容詞ヲ與ヘ。コレニ主詞ヲ加ヘ。或ハソノ主詞ニ形容詞ヲ加ヘ。或ハ上ニ關係詞ヲ加ヘ。或ハ下ニ關係詞ヲ加ヘテ

益々ツノ文意ヲ細ニスヘシ。但シ始ハ教師ヨ
リ其ノ手續ヲ委シク教シテヲ要ス。

例題一。深シ。深カラシ。

水深カラシ。

コノ池ノ水ハ深カラシ。

此ノ池ノ水ハ深カラシト思フ。

例題二。平ナリ。平ナラシ。

道平ナラシ。

彼方ノ道ハ平ナラシ。

彼方ノ道ハ平ナラシト太郎が言ヒキ。

例題三。暗シ。暗カラシ。

夜ハ暗カラシ。

今夜ハ曇リタレバ暗カラシ。

例題四。明ナリ。明ナラシ。

月出デナバ明ナラシ。

月出デナバ如何ニ明ナラシ。

例題五。綺麗ナリ。綺麗ナラン。

花開カバ綺麗ナラン。

彼ノ木ノ花開カバサヅヤ綺麗ナラン。

例題六。健康ナラン。

太郎ハ健康ナラン。

太郎ハ健康ナランコトヲ望ム。

例題七。信實ナリ。

信實ナランコト肝要ナリ。

朋友ニハ信實ナランコト肝要ナリ。

○左ノ形容詞ニテ適宜未來文ヲ綴ラシムベシ。

黒シ 苦シ 辛シ 惡シ 黄ナリ

香シ 寒シ 堅シ 冷ナリ 静ナリ

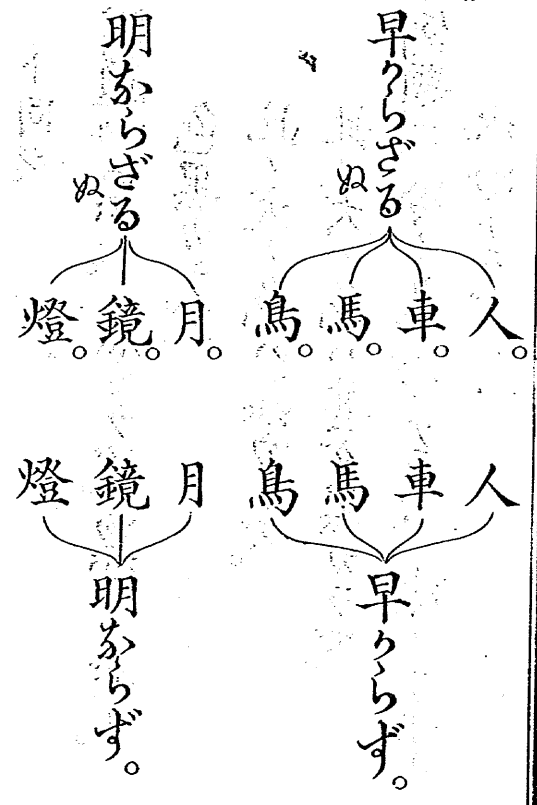
緑ナリ 近シ

○第二課。形容詞變格。(現在拒否變格)

此ノ課ハ形容詞現在拒否變格ヲ教フルヲ目的トス。此ノ變格ハ「クラズ」ヲ加ヘテ後變格トシ「クラズ」或ハ「クラぬ」ヲ加ヘテ前變格トス。「クラズ」ハ「ク」ハ「ク」約ナリ。又「グ」ニ終ル言及ビ漢字音ノ形容詞ハ「ク」ラズ」或ハ「ク」ラぬ」及ビ「ク」ラズ」ヲ加ヘテ之レヲ現ハス。其ノ變格左圖ノ如シ。

前

後



後ニ舉グル形容ニテ左ノ例題ニ習ヒ文ヲ綴

ラシムベシ。其ノ注意ハ都ベテ前課ニ言フ所
ト同ジ。

例題一。黒シ。黒カラズ。黒カラザル。

色黒カラズ。

此ノ犬ノ色ハ黒カラズ。

此ノ犬ノ色ハ甚ダ黒カラズ。

例題二。冷ナリ。冷ナラズ。冷ナラザル。

水冷ナラズ。

河ノ水冷ナラズ。

例題三。

冷ナラザル水。

冷ナラザル河ノ水。

冷ナラザル水ハ好マシカラズ。

例題四。苦シ。苦カラズ。苦カラザル。

砂糖ハ苦カラズ。

砂糖ハ苦カラザル物ナリ。

砂糖ハ苦カラザル食物ナリ。

例題五。大ナリ。大ナラズ。大ナラヌ。

此ノ木ハ大ナラズ。

此ノ庭ノ木ハ大ナラズ。

此ノ庭ノ木ハ盡ク大ナラズ。

木ノ大ナラヌヲ惜シム。

此ノ庭ノ木ノ盡ク大ナラヌヲ惜シム。

○左ノ形容詞ニテ適宜現在拒否文ヲ綴ラシムベシ。

圓シ 四角ナリ 英雄ナリ 賢シ 愚ナリ

長シ 短シ 甘シ 辛シ 大切ナリ

信實ナリ 忠義ナリ

○第三課。住所姓名ノ書キ方。

手紙ノ上書ハ表面ニ先方ト此方ノ住居姓名ヲ記スベシ。先方ノ姓名ヲ上ニ書キ。其ノ肩ニ

其ノ住所ヲ書キ又先方ノ姓名ノ下ニ已レノ住所ヲ書ク可シ。又其ノ裏ニハ年月日ヲ記スベシ。時ニ依リテ此方ノ姓名住所ヲハ裏ニ記スニアリ。姓名ヲ書ク方ハ雛形ノ如シ。

住所

山田林藏様

住所

水野流吉

住所ヲ認ムル法ハ府縣郡區ニテ同ジカラズ。

若シ區ナレバ左ノ如シ。

何^府縣何區何町(何丁目)何番地

之レヲ實際ノ住所ニ書キ直ス時ハ左ノ如シ。

東京府神田區猿樂町一丁目十番地

岡山縣岡山區富田町五番屋敷

郡ナレバ

何^府縣何國何郡何^町村(何丁目)何番地

ト書クガ本式ナレバサマズクハシク記スニ

及バズ。左ニ比較スル所ヲ見テ知ル可シ(此ノ邊ハ教師便宜ニ教ヘシヨリ望ム)

新瀉縣越後國北浦原郡猿橋村九十五番地(本式)

新瀉縣北浦原郡猿橋村九十五番地(畧式)

住所ヲ姓名ノ肩書キニ爲スト云フハ左ノ如クニスルナリ。

愛知縣尾張國愛知郡中村百番地

木下藤吉郎

之レヲ手紙ノ上書ニ認ムルハ左ノ如クスヘシ。

愛知縣愛知郡中村百番地 新瀉縣古志郡長岡
木下藤吉郎様 上杉謙信

其ノ裏書ハ左ノ如シ。

天正十五年二月五日

又表ニハ先方ノ姓名住所ノミヲ記シ裏面ニ此方ノ姓名住所ヲ記スルモ可ナリ。左式ノ如シ。

住所

姓名様

月日	住所
姓名	姓名

○第四課。口上文。

○人ヲ招ク文。

人ヲ招ク文ニハ時間ト事由トヲ記シ由いで下されたくハト記スベシ。

- 一。今日夕方方に由出下されたくハ。
- 一。明日由出下されたくハ。
- 一。明晩七時頃に由出下されたくハ。
- 一。来日曜日遊戯會を催し由出下

されたくい。

一。今晚會活ぐるたを被ゆる由お下されたくい。

○招ニ答ラル文。

一。本日曜ハ上リ中づくい。

一。今晚ハ用事アリ上リ中づくい。

一。明日ハ早知ヨリ上リ中づくい。

一。何時ヨクモヨリ中づくい。

一。七夕ハ不使ウ付キ上リかねい。

○人ニ品物ヲ借用スル文。

品物ヲ借ル文ニハ品物ヲ記シ之レヲ御貸下されたくいト書クナリ。又何卒及ヒ時日等ヲ加ヘテモ可ナリ。

一。作文書を御貸下されたくい。

一。作文書を何卒御貸下されたくい。

一。何れも書を何卒御貸下されたくい。

一。字を誤りて字を誤りてされたる。

一。先日拾ひ上げたる字を誤りて字を誤りてされたる。

○右返事。

一。中へ〜と申されたる。

一。字を誤りて字を誤りてされたる。

一。明日の夕方より〜と申されたる。

○病氣見舞ノ文。

病氣ヲ見舞フニハ「如何も此世のや」此大切も
願上り「此係書も」此存心ナド、書クベシ。

一。御病氣如何と此世のや此何中上り。

一。至後如何と此世のや此係書も〜と此世の。

一。此日來此病氣の由此大切之務上り。

一。此病氣此全枝の由表は〜と存心。

一。此病氣此回復の由此係書此也。

○右返事。

- 一。未だ全使不致也。
- 一。此為中され有のたぐ存下也。
- 一。病を中為中され有のたぐ存下也。さうたる
こといふあくるる中安ん下されたる也。
- 一。よほどよろしく也也。
- 一。もはや全使致也。
- 一。全使の後も係者中より致在也。

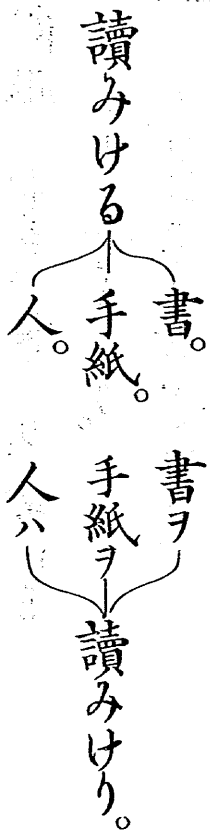
○第五課。 働詞變格。(已然變格)

此ノ課ハ働詞ノ已然變格ヲ教フル者ナリ。已然變格トハ已ニ然ルニテ時ハ現在ナレドモ働ハ終リタルヲ示ス者ナリ。假ヘバ行きけりト云ハバ。俗ニ曰フ今行タノ意ナリ。此ノ變格ハ「ける」「けり」ヲ加ヘテ顯ハス。假ヘバ「行きけり」「行きける」「立ちける」「歩みける」「歩みけり」等ノ如シ。又働詞ニ依リテハ「けり」「ける」ノ「け」ト働詞ノ

語尾トヲ連音シテ一語ニ呼ブガ如キモアリ。假ヘバ立ちけりヲ立てり讀みけるヲ讀めるト云フガ如シ。此レ等ハ工横行ニ「リ」「ル」ヲ加ヘタル者ト先記臆シテ可ナリ。其ノ「リ」ハ後變格ニテ「る」ハ前變格ナリ。連續語ハ其ノ下ニソレ「く」ノ靈辭ヲ加ヘテ後ニ連續セシムルナリ。其ノ活キ様ハ左圖ノ如シ。

前

後



此ノ變格ハ俗語ノ内ニハナシ。文章ノ中ニモ後變格ハ許多アレドモ前變格ハ少シ。然レ凡連續變格ハ常ニ用井テ甚ダ大切ナリトス。其ノ大凡ノ例ヲ左ニ舉グ。
 人ハ行けりと思ヒシニ。

人ノ行けるヲ見テ。

我ハ讀みけるニ君ハ未タナルカ。

○後ニ上クル勸詞ニテ左ノ例題ニ習ヒ先ツ
主辭ヲ加ヘソレヨリ種々ノ附屬辭ヲ加ヘテ
文章ヲ綴ラシムベシ。

例題一。書き。書けり。書ける。

小兒ハ書きけり。

小兒ハ字ヲ書きけり。

小兒ハ字ヲ立派ニ書きけり。

小兒ハ字ヲ書きけりや。

小兒ハ字ヲ書きけりやト見る。

例題二。

小兒ガ書ける字ヲ見ル。

小兒ガ書きける字ヲ見ルニ立派ナリ。

例題三。言フ。言ヘリ。言ヘル。

人ハ言ヘリ。

人ハ斯ク言ヘリ。

二郎ハ綺麗ナリト言ヘリ。

三郎ハ花ヲ綺麗ナリト言ヘリ。

例題四。人ハ言ヘリ。

言ヘル人ハ彼ナリ。

善キ兒ト言ヘル人ハ彼ナリ。

二郎ヲ善キ兒ト言ヘル人ハ彼ナリ。

例題五。行き。行けり。行ける。

母ハ行けり。

母ハ今行けり。

母ハ彼方ニ行けり。

彼方ニ行ける母ヲ呼ビ戻ス。

彼方ニ行ける母ヲ呼ビ戻セト父ハ言ヘリ。

○勸詞。此ノ勸詞ニテ例題ニ倣ヒ適宜ノ文

章ヲ綴ラシムベシ。

去レル 去レリ 來レル 來レリ 待テリ

待テル 思ヘリ 思ヘル 打テリ 打テル
立テル 立テリ 輝レリ 輝レル

○第六課。働詞ノ變格。(大過去)

此ノ課ハ働詞ノ大過去ヲ教フル者ナリ。大過去トハ以前ノ現在過去ノ働ヲ後ヨリ言フナリ。假ヘハ今日讀ミ居ルコトヲ明日ニナリテ言ハントセバ讀ミアリキト云フベキナリ。之レヲ約メテ讀ミタリキト云フナリ。此ノ變格ハ

甚タ困難ナルガ如シト雖モ實際ニハ然ラズ。且此ノ種ノ働ハ精密ナランコトヲ望ムナリ。此ノ働ノ前變格ハ「たり」ヲ加ヘ後變格ハ「たつき」ヲ加フ。又連續格ハ之レニ適當ノ靈辭ヲ加フ。

前 たりし。 後 たりき。

飛びたりし鳥。 鳥ハ飛びたりき。

沈ミたり。船。 船ハ沈ミたりき。

落チたり。木葉。 木ノ葉落チたりき。

次ニ舉グル働詞ヲ左ノ例題ニ倣ヒ。先ツ其ノ主詞ヲ附ケ更ニ種々ノ附屬辭ヲ加ヘテ文ヲ綴ラシムヘシ。

例題一。見ル。見タリキ。見タリシ。

花ヲ見タリキ。

墨田ノ花ヲ見タリキ。

去年ハ隅田ノ櫻花ヲ見タリキ。

例題二。教フ。教ヘタリキ。教ヘタリシ。

二郎ニ教ヘタリキ。

教師ハ二郎ニ教ヘタリキ。

二郎ニ教ヘタリシ教師ハ親切ナリキ。

例題三。在ル。在リタリキ。在リタリシ。

老翁ト老媪トアリタリキ。

昔シ老翁ト老媪トアリタリキ。

昔シ老翁ト老翁ト在リタリシガ老翁ハ
行ケリ。

昔シ老翁ト老媪ト在リタリシガ老翁ハ
山ニ行ケリ。

例題四。聞ク。聞キタリキ。聞キタリシ。

我ハ聞キタリキ。

我ハ演説ヲ聞キタリキ。

我ハ教師ノ演説ヲ聞キタリキ。

我ハ教師ノ演説ヲ聞キタリシニ思白カリ
キ。

例題五。譽ムル。譽メタリキ。譽メタリシ。

教師ハ二郎ヲ譽メタリキ。

二郎ハ教師ニ譽メラレタリシ故ウレシク
思ヘリ。

教師ニ譽メラレタリシ二郎ハ善キ人ト
成ルベシ。

○勸詞。

立チタリシ。	立チタリキ。	坐リタリシ。
坐リタリキ。	飲ミタリシ。	飲ミタリキ。
諫メタリシ。	諫メタリキ。	休ミタリキ。
休ミタリシ。	嘗メタリシ。	嘗メタリキ。
報イタリシ。	報イタリキ。	榮エタリシ。
榮エタリキ。	消エタリシ。	消エタリキ。
燃エタリシ。	燃エタリキ。	

○第七課。正誤。

左ノ設題中ノ誤ヲ正シ又空線ヲ適當ナル言ニテ填ムベシ。

明日ハ水清一。今夜ハ波穩ナート思フ。

長カラズ夜。雪ハ黒カラヌ。

小兒ハ水ヲ飲ミケル。三郎ハ商ヒケル。

吹キケリ風寒カリシ。

三郎サン。君ハ鳥ノ鳴キタリキヲ聞ケルヤ。然リ

其時ニハ花モ盛リニ咲キタリシ。
 昔一人ノ小兒カ在リタリシ。此ノ小兒ガ或日
 山ニ行ケリニ鳥ノ卵ヲ見付ケタル。

○第八課。郵便はがきノ書キ方。

郵便はがきノ表面ニハ住所姓名ヲ限リ認メ。
 裏面ニ手紙ノ文言ヲ書クベシ。表面ニハ一字
 ニテモ文言ヲ書キテハ惡シ。又表面ノ欄及ビ
 印面ニハ墨ノ掛ラヌ様ニ注意スベシ。

表面

日本橋區村木町 麻布永阪
 三丁目五番地 一丁目二番地
 林木太郎様 稻田米太郎



郵便はがき 此表面ハ住所姓名ヲ限リ認ムベシ

裏面

所不取の中ゆめ
 雨のやま向う
 十月八日

又手紙ヲ郵便ニテ出ス時ハ郵便切手ヲ都合
好き所ニ文字ノ上ニ懸ラヌ様ニハルベシ。左
圖ノ如シ。

住所	住所
姓名様	姓名
<small>切手</small>	

左ノ文ヲ郵便むがきニ寫スガ如クニ寫シ取
ル。

一。七晩出出せられたる。

神田區表神保町五番地 吉田龜吉へ行ク。

一。七晩いそすふ用向これありありぬ。

芝區巴町九番地 鈴木太郎行き。

一。明後日より學校へ入學仕るべく。

本郷區西片町十番地 廣井土地三行き。

一。明後日より學校へ入學の由止めをた
る。

神奈川縣横濱不老町三番地 唐田強吉行キ。

其ノ他教師ニテ適宜ニ書キ取ラスベシ。此ノ邊ヨリ教師ノ注意スベキハ端書ニハ親展トカ至急トカ又ハ侍史ナド書キ加ヘザル一及ビ封書ニテモ不用ノ文字假ヘバ親展貴酬乞親折ナドサマザマノ例文ヲ書クハ無益ノ事ナレバ教ヘザルヲ可トス。若シ又教フルモ親展當用至急貴答位ニテ澤山ナリ。此等モ小學ノ兒童ニハナクテ可ナリ。

○第九課。手紙文。

○人ニ品物ヲ送ル文。

品物ヲ送ルニハ品物ノ事柄ヲ書キ次ニ之ヲ送ルト云ヒ終ニ受取クレト書クナリ。品物ノ事柄ニハ品物ノ善惡來歴ヲ云フナリ。びの品粗末ハハ由由ゆいぎ「びの品到來ハ付き」びの品手繋子付」ナド書クナリ。又終ニ受取クレト書クハ「由由下されたく」由由下されたく」ナド

書クナリ。

- 一。けの品粗末よの由望也(一)を由送り申上り
由納下されたく也。
- 一。私宅座の掘の竅熱(一)留置上申由納
下されたく也。
- 一。けの鉛筆伯父よりゆらひ由留少くながら
置上申也。
- 一。けのレース子袋申由兼よの由望也(一)を由伯
父上申也。

母上様よ置上度也。

- 一。池の邊急由慰の爲め置上申也。

○右返事。

- 一。けのころある品物由送り下され方なく頂
戴仕也。
- 一。見よりの掘竅嘗味仕つく也。
- 一。鉛筆たくさんよ下され方なく由礼申也。
- 一。由子製のレース子袋申あとおけのころに

申す。

一。騎筋筋たる金魚也送りされりかたし申す
申す。

○轉居ヲ知ラスル文。

轉居ヲ知ラスルニハ轉居先ノ番地ヲ書キ。右
の番地ハ轉居後ノ下書キ又ハ左の所ハ轉居
後ノ下書キテ番地ヲ書クベシ。

一。右儀を後左の所ハ轉居後ノ

芝區琴平町十二番地

一。糺町區有樂町三丁目一番地

私儀を後右ノ番地ハ轉居後ノ

○報知文。

報知文ハ何ニ依ラズ事柄ヲ書キ次ニ「以後ハ
知らせ申上」ト書クベシ。

一。私昨日由來後ノ以後ハ知らせ申上。

一。明日より神田小学校へ入校可致る以後

一。 此知らせ申上。

一。 明後日ハ運動會可相催ハ以候由知らせ申上。

○第十課。 受取書。

受取書ハ手紙金子器物何ニ限ラズ他人ヨリ受取リタル時其ノ証トシテツカハス書キ物ナリ。其書キ方ハ左ノ如シ。

記

一手紙 一通

右ノ如ク文取也

年月日 住所 姓名

何様

記

一 小學作文指南書 四冊

一 習字帖 一冊

右ふまゝ取付也

年月日 姓名

本屋様

受取ノ書方ニ付テ注意。

一。初メノ行ニヒクク記トカ覺トカ書ク。但シ同シ事故ヤサシキ文字ヲ用ナル方ヲ可トス。

一。ト書キ其ノ下ニ受取リタル物ヲ書ク。

一。品物ノ下ニ其ノ數ヲ書ク。數ハ物品ニ應ジ書物ナラバ何冊。紙ナラバ何帖等ソレ々書クベシ。

一。次キニ少サク月日ヲ書ク。

一。月日ノ下ニ姓名ヲ書ク。姓名ノ肩ニ住所ヲ書ク。一モアリ。

一。終ニ先方ノ宛名ヲ書ク。

○左ニ上グル品物ニ付キ受取書ヲ認ムベシ。

一。友人ヨリ墨一挺紙一メ。

一。萬屋ヨリ米三俵醬油一樽。

一。長崎屋ヨリ烟草二斤巻烟草三箱。

一。越後屋ヨリ木綿二反絹三反。

一。伯母ヨリレース毛糸二オンス。

一。友人ヨリ風呂敷包一ツ。

○第十課。金錢ノ受取書。

金錢ノ受取書ノ書キ方モ手紙品物ノ受取書ニ同ジケレドモ多クハ受ケ取ル譯ヲ下ニ書キ入ル、ナリ。タトヘバ

記

一金五拾錢也 作文書 四冊代

右正ニ受取申候也

年月日 姓名

何某様

又

記

一金壹圓五拾錢也 紙ノ代

一金拾錢也 鉛筆紙

ノ金壹圓六拾錢也

右正ニ受取候也

年月日 姓名

何某様

此ノ受取書ニ付キ注意スベキナ

一。金高ノ下ニ也ト書ク。此レハ唯金高ノミ書キハナス時ハ下ニ書キ加フル恐レアレバナリ。故ニ也ト書キテ下ニ書キ加フル所ナカラシムル。肝要トス。但シ厘位マデアル時ハ也ヲ書クニ及バズ。

一。一二三及ビ十ノ四字ハ壹貳參及ビ拾ノ字ヲ用キルヲ常トス。此レハ一二三十ノ四字ハ何レモ字畫少キ故他ノ數字ニ書キ直サル、恐

レアレバナリ。

○次ノ金高ニテ受取書ヲ書ケ。

- 一。米二俵ノ代價五圓五拾錢。
- 一。小學讀本八冊ノ代價六拾錢。
- 一。醬油一樽ノ代壹圓參拾錢薪十把ノ代五拾錢。
- 一。墨二挺ノ代拾錢半切三卷ノ代拾五錢。
- 一。五日間ノ手間賃貳圓五拾錢。

○第十二課。勸詞變格。(未來變格及想像)
此ノ課ハ勸詞ノ未來變格及ビ想像ヲ教フル
ヲ以テ目的トス之レヲ并セテ教フルハ兩者
ノ頗ル混ジ易キガ故ナリ。想像ハ「あらん」ヲ加
ヘ未來ハ「ん」ヲ加フ。「あらん」「ふあらん」ノ約ニ
テ一寸考フレバ未來ノ如クニ聞エレドモ然
ラズ。「ふあらん」ノ約ニテ斯クヤあらんト想ビ
計ルナリ。彼レハ行クナラント云ヘバ「彼レハ
何レニカ行クデアラウ」ノ意ニテ俗詞ニ「カラ

ウ」ハ即チ此ノ轉ジタル者ナリ。又「我ハ行らん」
ト言ヘハ「行カウ」ト先ヲカケテ未來ノ事ヲ云
フ意ニナルナリ。此ノ差ハ實事ニ徴シテ生徒
ニ會得セシメン「ト」大切ナリ。此ノ課モ左ノ例
題ニ徴ヒテ始メハ單ニ未來勸詞或ハ想像ヲ
授ケ。後ニ之レニ種々ノ附屬辭ヲ加ヘテ文ヲ
綴ラシムベシ。

例題一。歸ルナラン。(想像)。

彼レハ歸ルナラン。

彼レハ學校ヨリ歸ルナラン。

彼レハ賞與ヲ得テ學校ヨリ歸ルナラン。

例題二。歸ラン。(未來)

我ハ歸ラン。

我ハ明日ハ家ニ歸ラン。

我ハ既ニ用ヲ辨ジタレバ明日ハ家ニ歸ラ
ント思フ。

例題三。着ルナラン。(想像)

お松ハ此ノ衣服ヲ着ルナラン。

お松ハ此ノ衣物が好キナル故ニ着ルナラ
ン。

お松ハ日頃此ノ衣物が好キナル故ニ着ル
ナラン。

例題四。着ン。(未來)

衣服ヲ着ン。

吾ハ此ノ衣服ヲ着シ。

吾ハ此ノ綺麗ナル衣服ヲ着シ。

例題五。學ブナラン。(想像)

五郎ハ學ブナラン。

五郎ハ善キ子供故學ブナラン。

五郎ハ善キ子供故都ベテ課業ヲ能ク學ブナラン。

例題六。學バン。(未來)

私ハ學バン。

私ハ算術ヲ學バン。

私ハ勉強シテ算術ヲ學バン。

私ハ勉強シテ算術ヲ學バント思フ。

○左ノ働詞ヲ與ヘ文章ヲ綴ラシムベシ。

走ルナラン 怒ラン 釣ラン 譽メン

枯レン 消ユルナラン 授ケン 授クルナラン

押サン 來ラン 倒サン 降ルナラン

落ツルナラン

○第十三課。勸詞變格。

此ノ課ハ勸詞ノ現在關係ヲ教フルヲ目的トス。現在關係ハエ横行ニ「ハ」ヲ加ヘ或ハ「レ」ガヲ加ヘテ作ル者トス。此ノ變格ハ今現ニ斯々スル故ニ云々ト云フ意ナリ。此ノ課モ左ノ例題ノ如ク始メニ勸詞ヲ與ヘ之レニ種々ノ修飾ヲ加ヘシム可シ。

例題一。 教フレバ。

教フレバ善キ人ト成ル。

誰ニテモ教フレバ善キ人ト成ル。

例題二。 孝行スレバ。

父母ニ孝行スレバ人ニ譽メラル。

父母ニ孝行スレバ世間ノ人ニ譽メラル。

例題三。 言ヘバ。

惡ルク言ヘバ。

悪ルク言へバ人ニ憎マル。

友ヲ悪ルク言へバ人ニ憎マル。

例題四。焼ケバ。

木ヲ焼ケバ灰ト成ル。

木モ竹モ焼ケバ灰ト成ル。

木モ竹モ紙モ焼ケバ灰ト成ル。

○左ノ働詞ヲ與へテ文ヲ綴ラシムベシ。

吹ケバ 勉強スレバ 出レバ 叱レバ

打テバ 書ケバ 讀メバ 聞ケバ 進メバ

開ケバ 見レバ 立テバ

○第十四課。働詞變格。(未來關係)

此ノ課ハ未來關係ヲ教フルヲ目的トス。未來關係ハ「あ横行ニ」バヲ加へ「い横行ニ」なバヲ加へテ現ハス。但シコレハ四段ノ活ニ限ル。其ノ他各其活ニヨリテ異ナレズベテア横行及ビイ横行ニ加フル者ト知ルベシ。假へバ

川學作文指南 卷之三
例題一。 來ラバ。

君が來ラバ面白カラン。

明日ノ運動會ニ君が來ラバ面白カラン。

例題二。 讀マバ。

此ノ書物ヲ讀マバサゾ面白カラン。

例題三。 開きおバ。

花開きおバ美シカラン。

此ノ牡丹ノ花が開きおバ誠ニ美シカラン。

例題四。 忘レナバ。

今日ノ課業ヲ忘レナバ先生ニ叱ラレン。

○左ノ働詞ニテ文章ヲ綴ラシムベシ。

動カバ 行カバ 現サバ 示サバ 加ヘナバ

用ナナバ 憂ヘナバ 結ビナバ 答ヘナバ

事ヘナバ 運動シナバ

K120.8

小學作文指南卷三終

3

19
4
68

明治廿一年五月四日印刷
同 年五月四日出版

定價金壹錢

新瀉縣士族
著者 白田 山 健

版權登錄

東京府平民
番地 東京府麴町區六丁目廿三

發行兼
印刷人

日本橋區吉川町二番地
松木平吉

